

感動が見つかる12日間

観る

ワセダでしか味わえない刺激を求めるアナタに。
大迫力のパフォーマンスを体感してください！

コンサート



芸術の秋、日本の音色
～学生と職員による三味線・箏・尺八演奏～

10/12(水) 18:15-19:30(開場17:45) 大隈小講堂
三味線・箏・尺八による演奏を間近で聴いてみませんか？
今回は「地唄」と呼ばれる江戸時代に親しまれた音楽を、
本学の学生と職員がコラボレーションして演奏します。

問い合わせ先: 文化企画課 03-5272-4783/art-culture@list.waseda.jp



時代を超える名曲、集めました
加藤露弥・早稲田大学混声合唱団

10/20(木) 18:30-20:10(開場18:00) 小野講堂
ピアニスト・加藤氏が、早稲田大学混声合唱団の澄み
きった美しい歌声を聞き、大自然を目にした時に感じる、
力強さ、壮かさ、輝かしさに魅せられたかのような衝撃を
受け、ご本人より混声合唱団に声掛けをし、実現した企画。
お子様でも楽しめる文化芸術週間に相応しい名曲を、
素晴らしい合唱でお楽しみ頂ける、またとない機会です。

料金 ¥1,000 早稲田大学混声合唱団HP (<http://www.soukon.com>) よりお申し込み
問い合わせ先: 早稲田大学混声合唱団 080-2341-8163/wmc.shogai@gmail.com



早稲田大学交響楽団
WASEDA Anniversary Concert 2016

10/21(金) 18:30-20:00(開場18:00) 大隈大講堂
サントリーホールなど国内最高峰のホールでの定期演奏会、
ヘルベルト・フォン・カラヤンをはじめとした一流の音楽家たちとの
共演など、精力的な活動を行っている早稲田大学公認オーケ
ストラ。早稲田大学創立記念日に、日頃の成果を披露します。
問い合わせ先: 早稲田大学交響楽団 03-3204-3585

音楽劇/ミュージカル



音楽家×作家×俳優がつくるステージ
人類のレシビ

春畑 セロリ・石野 由香里・ナカガワ マサヒロ (A.S.)
10/14(金) 18:30-20:30(開場18:00) 小野講堂
15(土) 17:00-19:00(開場16:30) 小野講堂

音楽家×作家×俳優がつくるステージ。ひゃくいろの音の
連なりが音楽になり、音楽から想起された物語が短編
集のように生まれ、それを俳優がひゃくいろの人物に
なり代わり演じます。

料金 ¥1,000 早稲田文化HP (<http://www.waseda.jp/culture>) よりお申込み
※チケット料金は当日、開場にてお支払いとなります。
※当日開演開始時間までに入場ならなかった場合、キャンセルとさせていただきます。
※会場混雑の場合、座席をご移動頂くことがございます。
※小学生以下入場不可
問い合わせ先: 文化企画課 03-5272-4783/art-culture@list.waseda.jp



青少年自殺防止ミュージカル
つまづいても

10/19(水) 16:30-18:30(開場16:00) 小野講堂
経済的困難、ブラックバイト、学業不振、就活での挫折
などが複合して自殺未遂に追い込まれていく大学生が
主人公。家族や友人の気づきと理解によって再出発す
る過程を、観劇するだけで理解できるように制作されてい
ます。感動が共感へ、そして理解へつながって行きます。

問い合わせ先: NPO法人社会貢献ミュージカル振興会 042-421-1154/info@musc-jp.org

ライブパフォーマンス



創立記念日記念
早稲田スポーツ・アニバーサリーステージ

10/21(金) 12:15-13:00 會津ハル記念博物館前※雨天中止
応援部と体育各部実行委員会によるスペシャルステージ。
応援部リーダーの力強いエール。チアのはじける笑顔。
吹奏楽団のパワフルな演奏。大学日本一をめざし世界と
戦う体育各部の熱いメッセージ。最後に、早大生・校友が
ひとつになって、「早稲田大学校歌」を斉唱します。
問い合わせ先: 競技スポーツセンター 03-5286-3757

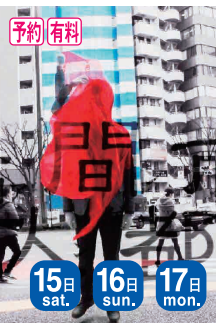
演劇/落語



ミニ落語会
「エンパク寄席」※ギャラリー・トーク付

柳家 緑太・金原亭 馬久
10/11(火) 17:00- 演劇博物館2階企画展示室内
ミニ落語会および企画・展示担当者によるギャラリー
トークを開催します。落語のメディア史を概観し、展示品を
解説するとともに、当時の寄席の雰囲気なかで、
若手の噺家の生の落語を聴いていただきます。

問い合わせ先: 演劇博物館 03-5286-1829/enpaku@list.waseda.jp



システムアンジェリカ主催公演
亜人間都市〈他者への旅路〉第二部
かもめ -越境する-

10/15(土)・16(日) 早稲田小劇場どらま館
14:00-15:30(開場13:30)
19:00-20:30(開場18:30)
10/17(月) 早稲田小劇場どらま館
13:00-14:30(開場12:30)
17:00-18:30(開場16:30)

単なる娯楽として消費されるのではない表現としての
演劇を模索する早稲田大学の演劇サークル、システム
アンジェリカ。チェーホフの悲喜劇を、〈他者〉という
視点のもとに解体、再構成します。

料金 一般¥1,000 学生¥800 9月17日(土) から予約開始
メールもしくは予約フォームよりお申し込み
(<http://ahnngentoshi.wix.com/amanstadt>)

問い合わせ先: システムアンジェリカ 050-5278-6075(劇団)・090-2820-9642(制作担当)
ahnngentoshi@gmail.com

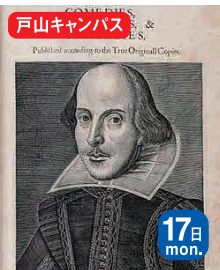


虚仮華紙×劇団森 企画公演
女子高生だけどスカート短くなくてごめんね

10/21(金) 19:00-20:30(開場18:30) 早稲田小劇場どらま館
「没個性」をテーマにした演劇公演です。「没個性」とは
個性を感じられない表現を意味します。舞台は高校で、
女子高生の姿を取り扱います。作も演出も役者もスタッフ
も女性ばかりで公演を行います。

料金 一般¥800 学生¥400 予約受付中
詳細は (http://stage.corich.jp/stage_detail.php?stage_main_id=60583) を確認
問い合わせ先: 田原 070-1462-0605/thrrx4a-honey@i.softbank.jp

朗読・講演



人生で大切なことはシェイクスピアから学んだ
「ヴェニスの商人」のミニパフォーマンスとトーク

10/17(月) 13:00-14:30(開場12:30) 戸山キャンパス36号館681教室
シェイクスピアの没後400年。難しいと思われがちなシェイ
クスピアですが、そこには人生を生き抜くためのヒントや
知恵がたくさん隠されています。シェイクスピア俳優の
彩乃木崇之氏に「ヴェニスの商人」の一部を演じてもらい、
その後、文学術院の冬木教授とともにシェイクスピアが
なぜ現代も人気で、心をとらえるのかを語り合ってください。
問い合わせ先: 冬木ひろみ fuyuki@waseda.jp

プレゼンテーション



プロフェッショナルズ・ワークショップ
プレゼン力No.1決定戦

10/21(金) 17:00-19:00(開場16:30) 小野講堂
2016年度プロフェッショナルズ・ワークショップにおいて、
企業・自治体が抱える課題に解決策を提示した学生
たちが集い、そのワークショップで得たプレゼン力を競い
ます。今年度のプレゼン力No.1を決めるのは来場の
あなたです。

問い合わせ先: 早稲田ポータルオフィス 03-5286-9845/propro@list.waseda.jp

早稲田文化芸術週間

学ぶ

溢れ出る向学心をおさえられないアナタに。
第一線で活躍する方々が最先端のアクティビティを披露！

シンポジウム



雑誌「亜細亜公論」と早稲田
留学生とアジアの公共空間の創出

10/14(金) 17:00-20:00(開場16:30) 大隈小講堂
大正デモクラシー真っただ中の1922年5月、東京の
一隅で、一つの雑誌に日本語・朝鮮語・中国語の論説が
混在する「亜細亜公論」が誕生します。この総合月刊誌は、
朝鮮人留学生・柳泰慶(柳壽慶)が創刊し、アジアの
知識人に開かれた言論空間を提供しました。本企画は、
「亜細亜公論」に掲載された留学生、卒業生、教員など
早稲田大学関係者の論説を多角的に紹介し、先駆的な
「アジアの知的交流の場」ともいえる同誌が果たした
公共空間の現代的な意義を検討します。

問い合わせ先: 地域・地域間研究機構 03-3202-2537/rarachi18@yahoo.co.jp



トーク
柳家喬太郎×「昭和元禄落語心中」

柳家 喬太郎・関 智一 他
10/15(土) 13:30-(開場12:30) 大隈大講堂
いま話題のアニメ「昭和元禄落語心中」に携わる方々に
ご登壇いただき、落語のメディアミックスの現状およびその
可能性について、現場の裏話などを交えつつ、お話し
いただきます。また、古典から新作まで縦横無尽の活躍を
見せる落語家の柳家喬太郎師匠をお招きし、「昭和元禄
落語心中」にちなんだ演目を一席ご披露いただきます。

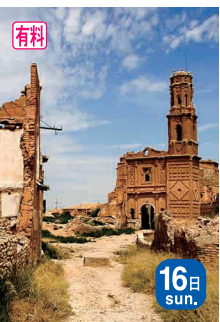
※詳細は、演劇博物館HP (<http://www.waseda.jp/enpaku>) にてご確認ください。
問い合わせ先: 演劇博物館 03-5286-1829/enpaku@list.waseda.jp



3D考古学の挑戦
考古遺物・遺構の
三次元計測における研究の現状と課題

10/16(日)・17(月)
10:00-17:00(開場9:30) 大隈小講堂
いまや考古学の様々な遺物や遺構において普遍的な
技術になりつつある三次元計測をテーマとして、国内外で
三次元計測を実践している研究者を招聘して発表して
もらうとともに、その発表内容にもとづいて総合討議を
おこない三次元計測の可能性について模索します。

問い合わせ先: 三次元シンポジウム事務局 03-5286-3646/3dsympo.waseda@gmail.com



ダ・ヴィンチ・ゲルニカ ワークショップ報告会
スペイン内戦から80年
スペイン、イタリアに辿るファシズムとの闘い

10/16(日) 13:00-18:00(開場12:30) 大隈大講堂
画家・内海信彦は若者達と共に、ゲルニカをはじめとする
スペイン内戦の史跡やイタリア各地に残るファシズム期の
近代建築を巡り、ファシズムの誕生とそれに抗する闘いの
源流をルネサンス期の都市と芸術、そしてローマ帝国の
遺構にまで辿りました。古代から近現代を貫く地中海世
界の盛衰史を旅し、我々の文明の行く末を問うたワー
クショップの成果をご報告します。

料金 ¥1,000 予約不要・入場料は会場受付にて徴収
問い合わせ先: 飯島 090-4536-8218 / t.rmt.199@gmail.com



国際協力×地域文化 ～学生にできること～

10/19(水) 16:30-18:00(開場16:00) 大隈小講堂
カンボジアを一つの例としてジェンダーや貧困問題を
研究する島崎裕子先生、現地で遺跡発掘を行う田畑
幸嗣先生、学生ボランティア団体Ju-Juが、三者三様の
立場・経験から東南アジアにおける国際協力のあり方と
大学での取り組みについて語ります。

問い合わせ先: 平山郁夫記念ボランティアセンター 03-3203-4192/wavoc@list.waseda.jp

講演会



早稲田魂とおもてなしの心
～2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて～

江上 いずみ 筑波大学客員教授 Global Manner Springs代表
10/13(木) 16:30-18:00(開場16:00) 大隈小講堂
2020年東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、
国際的に活躍する早稲田の学生としてできることは
何でしょうか。大会ビジョンの一つである「おもてなし」とは
いったい何か、JALで30年にわたりCAとして乗務してきた
講師が、機内で起きた様々なエピソードを交えながら、
日本人のおもてなしの極意を紹介します。

問い合わせ先: 平山郁夫記念ボランティアセンター 03-3203-4192/wavoc@list.waseda.jp



狂言とシェイクスピアの出会い

野村 萬斎 狂言師
10/18(火) 18:30-20:00(開場17:30) 大隈大講堂
シェイクスピア戯曲に独自の演出を施し、主演してきた
狂言師・野村萬斎。シェイクスピア没後400年となる
今年、この日本の古典芸能の伝承者は、いかにして
シェイクスピア戯曲に新たな生命を吹き込んだできたので
しょうか。狂言とシェイクスピアが出会うことで生まれる
新たな創造の可能性についてお話しいたします。

※詳細は、演劇博物館HP (<http://www.waseda.jp/enpaku>) にてご確認ください。
問い合わせ先: 演劇博物館 03-5286-1829/enpaku@list.waseda.jp



早稲田大学中央図書館開館25周年記念講演会
私と図書館

堀江 敏幸 芥川賞受賞 早稲田大学教授
綿矢 りさ 芥川賞受賞 早稲田大学 教育学部卒業
10/21(金) 15:00-16:30(開場14:00) 国際会議場
芥川賞作家の堀江敏幸氏、綿矢りさ氏が、学生時代の
図書館での思い出や大学図書館の魅力を語ります。
さらに、貴重な古典籍や、ブックロボが書庫から本を出納
する様子などを大迫力の360°のバーチャルリアリティ
映像で公開。図書館オリジナルグッズもプレゼント。

問い合わせ先: 早稲田大学図書館 03-5286-1643/lib-25-kouenkai@list.waseda.jp



バイオ芸術の現在
BCL, AKI INOMATAトークイベント

AKI INOMATA / BCL (Shiho Fukuhara, Georg
Tremmel, Yuki Yoshioka, Philipp Boeing)
10/21(金) 18:00-20:30(開場17:45)
先端生命医科学センター(TWINS)3階ホワイエ
生物と人との関わりについて斬新な切り口で表現するAKI
INOMATAさんと、バイオテクノロジーが僕たちの未来や表現を
どのように変えていくのかを探究するアートグループBCLの
Georg Tremmelさんなどに生命やバイオを見据えたアートの
現在について、それぞれの観点から語っていただきます。

問い合わせ先: 岩崎 秀雄(metaPhorest) info@metaphorest.net

フォーラム



立ち上がり! 早稲田地方創生フォーラム

10/14(金) 15:30-18:30(開場15:00) 大隈大講堂
東京一極集中から地方のまちづくりが各地で活性化して
います。日本全体の活力を底上げするためには、新しい
精神、技術、芸術が重要です。早稲田大学は建学以来、
世界的視野で地域を展望し地域づくりをリードする志、
高邁な精神と知識技能ある人材を創出してきました。
今こそ、まちづくり専門家、政策担当者、地域リーダー、
教授、学生が一同に会し、地方創生のあるべき姿を
展望し、日本の津々浦々まで広げていく道を語り合います。

問い合わせ先: 総合研究機構 03-5286-9702/sougousympo2016@list.waseda.jp